

令和 2 年 6 月 3 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16H03390

研究課題名(和文) 近松没後義太夫節浄瑠璃作品のデジタル・アーカイブを利用した包括的研究

研究課題名(英文) Comprehensive Research Using a Digital Archive of the Post-Chikamatsu Works of GidayuBushi Joruri

研究代表者

鳥越 文蔵 (Torigoe, Bunzo)

早稲田大学・坪内博士記念演劇博物館・名誉教授

研究者番号：60063509

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,500,000円

研究成果の概要(和文)：近松没後の未翻刻浄瑠璃作品の書誌調査・翻刻作業を進め、玉川大学出版部の協力を得て、『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集成』第5期(10作品、2018年刊行)・第6期(10作品、2020年刊行)の上梓をめざした。また、これまでの公刊した浄瑠璃翻刻42作品のテキストファイルを再度精査し、刊行された本文との整合性を高め、公開を視野に入れたデジタル・アーカイブ化の準備を行った。蓄積したデータについては、音曲研究、作品研究に寄与するための文字譜索引の作成に向けてのデータの解析、近世語研究に資するための語彙索引作成に向けて、タグ付け作業を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究課題の学術的な特色の第一は、人形浄瑠璃作品をめぐる学際的な視点からの研究を推進する点にある。浄瑠璃本の網羅的なデータベース化は本研究課題が最初の試みであり、これが本研究の独創的な点である。未翻刻作品の紹介とデジタル・アーカイブ化により、学術研究上に未知の諸情報を提供し、語彙索引・節付索引の整備を目指す本研究課題は、演劇学に加え、日本語学・音楽・文学研究といった多方面において、あらたな研究の地平を切り開く契機になる。

また、各浄瑠璃作品についての言語・音曲・作品面からの多角的な研究が、現在も古典芸能として伝承される、人形浄瑠璃文楽の実態の解明に繋がるものである。

研究成果の概要(英文)：We conducted research on and transcribed never-before-transcribed post-Chikamatsu works of joururi, in order to publish the fifth (10 works, published in 2018) and sixth (10 works, published in 2020) series of Gidayu-bushi joururi mihonkoku sakuhin shuusei from Tamagawa University Press. In addition, we reexamined the working text files for the 42 joururi transcripts that we previously published, harmonizing them with the revised published versions to make them suitable for future publication as a digital archive. We also analyzed data for making an index based on moji-fu to contribute to musical and textual research, and worked on tagging in order to make an index based on vocabulary to contribute to the study of early modern Japanese language.

研究分野：人文学

キーワード：人形浄瑠璃文楽 近世演劇 義太夫節浄瑠璃 文字譜索引 近世語彙索引 テキストデータ 書誌調査 作品梗概

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

義太夫節人形浄瑠璃文楽は、2003年にユネスコの「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」を受け、世界無形文化遺産に採択された、日本を代表する古典芸能である。人形浄瑠璃の作品は、「義太夫狂言」として歌舞伎でも盛んに上演され、文化遺産として国内外からの注目を集めている。しかし、一方で、人形浄瑠璃研究においては、近松門左衛門の登場以前の【古浄瑠璃作品】、および【近松作品】の研究が、長く主流を占めていた。

研究代表者・鳥越文蔵と分担者・内山美樹子は、岩波版『近松全集』刊行会の会員として出版に尽力してきたが、『近松全集』刊行後の1998年、基礎資料の整備が遅れている、近松没後の未翻刻浄瑠璃作品の翻刻紹介・研究を目指し、新たに「義太夫節正本研究会」を発足させた。全国の公共機関が所蔵する浄瑠璃本の書誌調査、底本とすべき初板初摺本の選定、正本影印の作成と収集、翻刻方法の研究を行った。この間、以下の科学研究費補助金を得て、研究を進めていた。こうした研究の成果として、玉川大学出版部より、第1期～4期、計42冊の未翻刻浄瑠璃作品の刊行が実現した。また、科学研究費補助金の採択後は、蓄積したテキストデータを活用し、語彙(自立語)索引を作成。さらに、科学研究費補助金の採択を受け、本格的なデジタル・アーカイブ化に着手し、語彙索引作成を進めるとともに、節付(文字譜)索引の作成方法についても検討を重ねてきた。

2. 研究の目的

古典芸能としての人形浄瑠璃文楽の現行演目の多くは、近松没後の享保から宝暦年間(1716～1764)に初演されたものである。しかし、同時期の浄瑠璃には未翻刻作品が残されており、基礎的な資料整備、また作品研究についても、甚だ不十分な状況と言わざるを得ない。

本研究課題では、近松没後の未翻刻浄瑠璃作品の諸本を調査し、最善本を翻刻し、これまで蓄積したデジタル・アーカイブ化された本文の精度を上げ、これを利用した包括的研究を目指す。具体的には、諸本調査に基づく翻刻本文の刊行とデジタル・アーカイブ化を柱として、語彙索引・文字譜索引を作成、言語面・音曲面からの浄瑠璃作品研究を行う。これにより、初演時の上演実態を明らかにし、近松没後、現代に至るまでの浄瑠璃史の解明に繋げる。

3. 研究の方法

本研究課題においては、以下の三点の事業を計画している。このうち、**書誌調査・翻刻作業**には、研究代表者・分担者・協力者全員が従事する。

書誌調査・翻刻作業 『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集』第5期・第6期の刊行
蓄積したテキストデータの整備 デジタル・アーカイブ化
デジタル・アーカイブを利用した音曲・作品・言語研究 語彙索引・節付索引の作成等
・ については、組織を4グループに分け、それぞれに責任者を設けて計画を推進する。

【A】テキストデータのデジタル・アーカイブ化

【B】音曲研究(節付索引作成)

【C】浄瑠璃(作品)研究

【D】言語研究(語彙索引作成)

全体研究である翻刻に際しては、初板・初摺とみられる善本を底本とすることを目指し、かつ正確な翻刻本文を作成するため、諸本調査を徹底する。未翻刻作品のすべてについて最低1点の写真複製を備えることができたが、実際の本文確定にはさらに校異本(本文校合に必要な複本)および十行本などの参考本を用意する必要がある。このため、翻刻担当者は、担当作品について、各所蔵機関に赴いての再調査を行ない、必要と思われる諸本の写真を追加的に収集する。

翻刻から原稿作成までは、右のとおり確認を行う。

各作品の解題作成にあたっては、注釈付の翻刻書を刊行した経験のある、研究分担者の内山美樹子(岩波書店、新日本古典文学大系93・94等)、黒石陽子(小学館、新編日本古典文学全集77等)が指導に当たる。研究期間中は、2ヶ月に1回程度の研究会を設け、各担当作品の進捗状況等についての報告を行ない、共同研究を進めていく形態を採る。

翻刻担当者

翻刻確認者

最終確認者

通算3会員の確認を経て
最終原稿を作成する。

4. 研究成果

書誌調査・翻刻作業について

本研究課題の研究母体である義太夫節正本研究会で行ってきた『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集』(玉川大学出版部)の次の第5期10冊の刊行を行った。翻刻に際しては、初板・初摺とみられる善本を底本とすることを目指し、かつ正確な翻刻本文を作成するため、所蔵図書館に赴いての書誌調査を徹底し、十行本などの参考本の入手を行った。翻刻担当者と翻刻確認者による見なし作業に着手することができた。翻刻問題と進捗状況の確認のための研究会を3ヶ月に1度ほど開催し、研究代表者鳥越文蔵、研究分担者内山美樹子を中心に検討を行い、本文の確定を進めた。3名の目をとおした上で翻刻を完成させ、梗概と校異を明らかにし、刊行助成金を得て、

上梓することができた。

五期作品	底本
眉間尺象貢	松竹大谷図書館
赤松円心緑陣幕	関西大学図書館本
太政入道兵庫岬	早稲田大学図書館
本田善光日本鑑	松竹大谷図書館蔵本
鎌倉大系図	松竹大谷図書館
物ぐさ太郎	東京芸術大学附属図書館
粟島譜嫁入雛形	東京芸術大学附属図書館
酒呑童子出生記	松竹大谷図書館
秀伶人吾妻雛形	天理大学附属天理図書館
安倍宗任松浦笠	早稲田大学演劇博物館

また、2018年度の第5期刊行後については、6期刊行に向けて、引き続き書誌調査、翻刻を開始した。6期刊行予定の作品は次の10作品である。

6期作品	初演	
傾情山姥都歳玉	享保18	辰松座
敵討襷褌錦	元文1	竹本座
茜染野中の隠井	元文3	豊竹座
入鹿大臣皇都諍	寛保3	竹本座
児源氏道中軍記	延享1	竹本座
遊君衣紋鑑	延享1	豊竹座
増補大仏殿(萬代)礎	延享2	豊竹座
女舞鈕紅楓	延享3	陸竹小和泉座
新板累物語	寛延3	肥前座
文武世継梅	寛延3	竹本座

蓄積したテキストデータの整備

1期から4期までに刊行された作品の文字譜記譜箇所データのデータ化に着手した。アルバイタによる文字譜位置の確認を三分の一ほどを見直し、訂正確認を行うことができた。

デジタル・アーカイブを利用した音曲・作品・言語研究

文字譜研究の可能性を明らかにするために、研究分担者田草川みずきと飯島満により研究を進め、田草川が文字譜索引の現状とその文字譜研究意義について研究報告を行っている。

田草川は、その際発表した節付索引作成方針を踏まえ、早稲田大学演劇映像学連携研究拠点の研究事業「くずし字OCR」を活用した総合的古典籍データベースの構築」に参画し、浄瑠璃正本の文字譜のデータベース化の凡例作成に従事した。その成果は、楽劇学会第102回例会にて、「くずし字とデジタル化 - 演劇博物館における「くずし字判読支援研究」 - 」(大澤留次郎・柴田康太郎・田草川みずき)として発表し、本研究課題における節付索引凡例に還元することができた。

さらに、第1期から4期の刊行で蓄積した本文データに情報タグ付け作業を進めつつ、研究協力者による切り出し作業を終えたものについて、研究分担者坂本清恵と上野左絵が、現行演目『丹州爺打栗』について、自立語彙索引としての活用を目指すための確認作業を行った。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計32件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 鳥越文蔵, 田草川 みずき, 佐藤 知乃, 光延 真哉	4. 巻 60
2. 論文標題 鳥越文蔵氏に聞く (特集 近松(上)研究編)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 歌舞伎 : 研究と批評	6. 最初と最後の頁 5-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山美樹子	4. 巻 232
2. 論文標題 人形浄瑠璃文楽の戯曲上演 一九六六年以後半世紀を軸に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東アジア古典演劇の伝統と近代 (アジア遊学)	6. 最初と最後の頁 122 141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒石陽子	4. 巻 67(10)
2. 論文標題 近世世話物における「家」、家族・親子 : 『曾根崎心中』 『冥途の飛脚』 『女殺油地獄』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本文学	6. 最初と最後の頁 2-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山美樹子	4. 巻 29
2. 論文標題 「仮名手本忠臣蔵」の作者 - 『忠臣蔵岡目評判』と並木宗輔	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 近松研究所紀要	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山美樹子	4. 巻 第三期月報
2. 論文標題 「洞が嶽の俊寛」の作者	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歌舞伎評判記	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山美樹子	4. 巻 12月
2. 論文標題 国立劇場12月文楽公演・鑑賞教室「高綱物語」光る語り口	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 朝日新聞夕刊	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯島満	4. 巻 13
2. 論文標題 「故文耕堂之述作」訛伝考	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 無形文化遺産研究報告	6. 最初と最後の頁 70-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田草川みずき	4. 巻 232
2. 論文標題 日本古典演劇譜本の近代 その変容と明暗 (アジア遊学)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東アジア古典演劇の伝統と近代	6. 最初と最後の頁 52 68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田草川みずき	4. 巻 12
2. 論文標題 『近松全集』関連資料との邂逅と、調査のこれから	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 神戸女子大学古典芸能研究センター紀要	6. 最初と最後の頁 74-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田草川みずき	4. 巻 9月20日夕刊
2. 論文標題 評・国立劇場九月文楽	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 朝日新聞	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田草川みずき	4. 巻 62
2. 論文標題 平成30年上半期の文楽	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歌舞伎 研究と批評	6. 最初と最後の頁 112-124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂本清恵	4. 巻 61
2. 論文標題 近松作浄瑠璃に仕組まれた音韻表現 : 動詞の活用と音便	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 歌舞伎 : 研究と批評	6. 最初と最後の頁 43-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 東晴美	4. 巻 82
2. 論文標題 「良弁杉由来」と近代日本 人形浄瑠璃文楽の明治期の新作と近代西洋文学批評	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 相模女子大学紀要	6. 最初と最後の頁 13-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒石陽子	4. 巻 なし
2. 論文標題 浄瑠璃正本は実際の舞台にどれだけ忠実なのか	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『古典文学の常識を疑う』 勉誠出版	6. 最初と最後の頁 176-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 黒石陽子	4. 巻 2017年8月号
2. 論文標題 『菅原伝授手習鑑』三段目「車曳」考 松王丸人物解釈の変容	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国語と国文学	6. 最初と最後の頁 3-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山美樹子	4. 巻 59
2. 論文標題 平成二十八年後半の文楽 国利劇場五十周年	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 歌舞伎 研究と批評	6. 最初と最後の頁 139 ~ 152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯島満	4. 巻 2017年5月
2. 論文標題 豊竹呂太夫という名跡	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『国立劇場第199回文楽公演解説書』国立劇場	6. 最初と最後の頁 20-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂本清恵	4. 巻 67
2. 論文標題 長唄 京鹿子娘道成寺 に摂取された謡 旋律とアクセントー	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本女子大学紀要 文学部	6. 最初と最後の頁 49～64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 坂本清恵	4. 巻 57
2. 論文標題 資料紹介「浄瑠璃秘伝」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国文目白	6. 最初と最後の頁 85～91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 原田真澄	4. 巻 212
2. 論文標題 小西行長 近世の軍記から演劇まで	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジア遊学212 『関ヶ原はいかに語られたか』 (勉誠出版)	6. 最初と最後の頁 51-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 内山美樹子	4. 巻 5月22日
2. 論文標題 「「寺子屋」でみせた二つの芸風」（国立劇場5月文楽公演 豊竹呂太夫襲名）	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 朝日新聞夕刊 文楽公演劇評	6. 最初と最後の頁 1 - 1
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山美樹子	4. 巻 2月19日
2. 論文標題 「織太夫の「合邦」に高揚感」（国立劇場2月文楽公演）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 朝日新聞夕刊 文楽公演劇評	6. 最初と最後の頁 1 - 1
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 入口敦志・江口文恵・近藤弘子・田草川みずき・深澤希望・柳瀬千穂・竹本幹夫	4. 巻 41
2. 論文標題 『葛巻昌興日記』所引能楽記事稿（貞享三年閏三月・四月分）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 演劇研究	6. 最初と最後の頁 17-48
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田草川みずき	4. 巻 9月11日
2. 論文標題 評・国立劇場九月文楽公演	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 朝日新聞夕刊 文楽公演劇評	6. 最初と最後の頁 1-1
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田草川みずき	4. 巻 12月21日
2. 論文標題 評・国立劇場十二月文楽公演	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 朝日新聞夕刊 文楽公演劇評	6. 最初と最後の頁 1-1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山美樹子	4. 巻 200
2. 論文標題 文楽の観客が指針を失う	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 上方芸能	6. 最初と最後の頁 1-1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯島満	4. 巻 11
2. 論文標題 七代目豊沢広助『義太夫 節と手順』	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 無形文化遺産研究報告	6. 最初と最後の頁 17-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田草川みずき	4. 巻 0
2. 論文標題 展観『京観世岩井家の歴史』	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 謡を楽しむ文化 京都の謡の風景	6. 最初と最後の頁 28-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 入口敦志・江口文恵・田草川みずき・深澤希望・柳瀬千穂・竹本幹夫	4. 巻 40
2. 論文標題 『葛巻昌興日記』所引能楽記事稿（貞享三年正月・二月・三月）	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 演劇研究	6. 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原田真澄	4. 巻 0
2. 論文標題 秀吉の出世（虚像編）	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『秀吉の虚像と実像』（笠間書院）	6. 最初と最後の頁 111～120
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂本清恵	4. 巻 12
2. 論文標題 現代能楽の音便	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 論集	6. 最初と最後の頁 19-30
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） http://www.f.waseda.jp/uenok/ronshu/ronshu_12_sakamoto.pdf	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 黒石陽子	4. 巻 1
2. 論文標題 十七世紀の人形浄瑠璃制作 近松が登場する背景	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 近世文学史研究 一 十七世紀の文学	6. 最初と最後の頁 75-89
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計13件（うち招待講演 3件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 伊海孝充、○原田真澄、野川美穂子
2. 発表標題 シンポジウム「楽劇と平家物語」
3. 学会等名 楽劇学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田草川みずき
2. 発表標題 くずし字とデジタル化 演劇博物館における「くずし字判読支援研究」
3. 学会等名 楽劇学会第102回例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坂本清恵
2. 発表標題 アクセントからみた英執着獅子と越後獅子
3. 学会等名 日本女子大学文学部・文学研究科 学術交流企画シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坂本清恵
2. 発表標題 文楽に現れる連声と音便
3. 学会等名 歌舞伎学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田草川みずき
2. 発表標題 Return from Death:Puppet theatre Play “Yoshitsune Thousand Cherry Trees ”
3. 学会等名 University of Cincinnati event (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 内山美樹子
2. 発表標題 「心中天網島」初演・近松没・「一谷嫩軍記」初演の西暦表示について
3. 学会等名 近松の会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 内山美樹子
2. 発表標題 「仮名手本忠臣蔵」三・四段目の作者について
3. 学会等名 近松の会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 飯島満
2. 発表標題 伝統芸能を支える力 人形浄瑠璃文楽を事例として
3. 学会等名 無形文化遺産国際シンポジウム 技と心を受け継ぐ (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 田草川みずき
2. 発表標題 近松没後の義太夫節文字譜索引の作成について
3. 学会等名 歌舞伎学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 原田真澄
2. 発表標題 墨俣一夜城説話形成について
3. 学会等名 近松の会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 原田真澄
2. 発表標題 人形浄瑠璃における太閤記物作品群の研究
3. 学会等名 楽劇学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 坂本清恵
2. 発表標題 「京鹿子娘道成寺」の発音 謡との比較
3. 学会等名 日本女子大学学術交流企画「長唄に摂取された謡」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 配川美加・坂本清恵・日吉栄寿
2. 発表標題 「京鹿子娘道成寺」に残る上方アクセント
3. 学会等名 日本女子大学学術交流企画「長唄に摂取された謡」
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計12件

1. 著者名 川口節子翻刻・鳥越文蔵 内山美樹子監修	4. 発行年 2018年
2. 出版社 玉川大学出版	5. 総ページ数 146
3. 書名 眉間尺象貢	

1. 著者名 淵田裕介翻刻・鳥越文蔵 内山美樹子監修	4. 発行年 2018年
2. 出版社 玉川大学出版	5. 総ページ数 127
3. 書名 莠伶人吾妻雛形	

1. 著者名 山之内英明	4. 発行年 2018年
2. 出版社 玉川大学出版	5. 総ページ数 142
3. 書名 赤松円心緑陣幕	

1. 著者名 櫻井弘翻刻・鳥越文蔵 内山美樹子監修	4. 発行年 2018年
2. 出版社 玉川大学出版	5. 総ページ数 136
3. 書名 安倍宗任松浦	

1. 著者名 伊藤りさ翻刻・鳥越文蔵 内山美樹子監修	4. 発行年 2018年
2. 出版社 玉川大学出版	5. 総ページ数 143
3. 書名 太政入道兵庫岬	

1. 著者名 上野左絵翻刻・鳥越文蔵 内山美樹子監修	4. 発行年 2018年
2. 出版社 玉川大学出版	5. 総ページ数 144
3. 書名 本田善光日本鑑	

1. 著者名 東晴美翻刻・鳥越文蔵 内山美樹子監修	4. 発行年 2018年
2. 出版社 玉川大学出版	5. 総ページ数 158
3. 書名 鎌倉大系図	

1. 著者名 田草川みずき 翻刻・鳥越文蔵 内山美樹子監修	4. 発行年 2018年
2. 出版社 玉川大学出版	5. 総ページ数 157
3. 書名 酒呑童子出生記	

1. 著者名 飯島満 翻刻・鳥越文蔵 内山美樹子監修	4. 発行年 2018年
2. 出版社 玉川大学出版	5. 総ページ数 143
3. 書名 粟島譜嫁入雛形	

1. 著者名 原田真澄 翻刻・鳥越文蔵 内山美樹子監修	4. 発行年 2018年
2. 出版社 玉川大学出版	5. 総ページ数 177
3. 書名 物くさ太郎	

1. 著者名 内山美樹子	4. 発行年 2016年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 16
3. 書名 池澤夏樹個人編集 日本文学全集 10	

1. 著者名 上野左絵・坂本清恵	4. 発行年 2017年
2. 出版社 義太夫節正本刊行会言語研究班	5. 総ページ数 293
3. 書名 「赤沢山伊東伝記」自立語索引	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	内山 美樹子 (Uchiyama Mikiko) (30063704)	早稲田大学・文学学術院・名誉教授 (32689)	
研究分担者	黒石 陽子 (Kuroishi yoko) (40247268)	東京学芸大学・教育学部・教授 (12604)	
研究分担者	坂本 清恵 (Sakamoto Kiyoe) (50169588)	日本女子大学・文学部・教授 (32670)	
研究分担者	飯島 満 (Iijima Mitsuru) (90392547)	独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所・無形文化遺産部・部長等 (82620)	
研究分担者	田草川 みずき (Takusagawa Mizuki) (10367097)	千葉大学・高等教育研究機構・准教授 (12501)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	原田 真澄 (Harada Masumi) (40580444)	日本女子大学・文学部・研究員 (32670)	
研究分担者	東 晴美 (Higashi harumi) (10277808)	日本女子大学・文学部・研究員 (32670)	
研究分担者	高井 詩穂 (Takai Shiho) (60813780)	早稲田大学・文学学術院・専任講師 (32689)	
研究分担者	小林 左絵（上野左絵） (Kobayashi Sae) (10771933)	日本女子大学・文学部・研究員 (32670)	